

# 最優秀賞は甲斐慶太朗さん

延岡

延岡市の有人離島・島野浦を活性化するビジネスプランコンテストの表彰式が20日、同市役所であった。同市の甲斐慶太朗さん(29)「のべおかプランディング計画代表」の案が最優秀賞に選ばれ、コンテストを主催する「島業」推進協議会会長で島浦町区長の岩谷勇さんが、賞状と記念品を贈った。



最優秀賞を受賞し、笑顔の甲斐慶太朗さん(写真中央)。右は「島業」推進協議会の岩谷勇会長、左は城豊廣副会長

同協議会は島野浦の活性化について検討を行う団体で、コンテストは市が取り組む「島業」創出支援事業の一環で、9月中旬から11月下旬にビジネスプランを募集。県内外、遠くは宮城県仙台市や東京都から応募があり、審査委員9人が審査し、最優秀賞を決めた。

案のタイトルは「昭和30年代の活気をリブランディング。島浦・満月食堂コワーキング十ホステル」。島がにぎわっていった昭和30年代の良き時代を島の歴史やまち並み、自然、新鮮な海鮮料理、島民の温かさなどの豊富な魅力を結集して現代に合った活気づくりを目指す。

具体的には、島内には宿泊施設が少ない上、食事やIT機器で仕事をする場所、島民と来訪者の交流スペースがないため、集合施設を設置して中期滞在客を創出。漁師体験やビーチ遊びなどの離島体験を提供するほか、島民と来訪者が交流できる月に一度の満月食堂の開催などを計画している。

表彰式で協議会の岩谷会長は「島が抱える課題解決に向けたプランを募集したが、甲斐さんのプランは島の状況を身近な視点で把握し、最も実現の可能性が高いと評価された。今後は協議会で案の内容をさらに詳しく聞かせてもらい、意見交換を重ね、プランの実現に向けて協議会を中心に対応したい」とあいさつ。甲斐さんは、「昭和30年

代の島の活気をそのまま再現するのではなく、今の時代に合った形で活気を取り戻せたらとプランを考えた。今後は何より大事な地元の方の話を重

じて聞いて進めていきたい」と話していた。